

会話における感動詞「うわー（っ）」

加藤 恵梨（大手前大学）[†]

On Interjection 'uwa' in Daily Conversation

Eri Kato (Otemae University)

要旨

本研究は、『日本語日常会話コーパス』モニター公開版を用い、感動詞「うわー（っ）」が日常会話においてどのように用いられているのかを調査・分析することを目的とする。「うわー（っ）」は、「主体の無意識が暗示され、驚きのほかに困惑・感動・驚嘆などさまざまなニュアンスをもつ」（『現代感動詞用法辞典』, p.54）と説明されている。しかし、実際の日常会話での使用を見ると、無意識的な使用よりも、文脈から相手の期待を読み取って、驚き、感嘆、批判、困惑などを意識的に表すため用いられることが多い。『日本語日常会話コーパス』モニター公開版では、「うわー（っ）」は 55 名が 111 回使用し、男性は 20 名が 57 回、女性は 35 名が 54 回使用している。男性が用いる「うわー（っ）」は「感嘆」の気持ちを表すものが最も多かったのに対し、女性が用いる「うわー（っ）」は「驚き」の気持ちを表すものが最も多く、相手の発言に対する応答として多用していることが分かった。

1. はじめに

本研究の目的は、『日本語日常会話コーパス』モニター公開版を用い、感動詞「うわー（っ）」が日常会話においてどのように用いられているのかを調査・分析することである。先行研究では「うわー（っ）」は驚きを表すと指摘されることが多いが、実際には驚き以外の気持ちを表す場合にも用いられている。本研究では、現代日本語の話しことばにおいて、誰が誰に対して、どのような意味でその語を使っているのかを明らかにする。なお、本研究で分析対象とする「うわー（っ）」とは、具体的には「うわー」「うわーっ」「うわっ」「うわ」「うーわ」「うーわー」「うーわっ」を指す。

2. 先行研究の「うわー（っ）」の記述

感動詞の意味および用法について詳述している『現代感動詞用法辞典』の記述を概観する。『現代感動詞用法辞典』は①から③を挙げ、「うわー（っ）」について次のように記述している。

- ①（空き巣に入られた）うわーっ、部屋がぐちゃぐちゃだ。
- ②（山頂からの絶景）うわあ、きれい！
- ③（超絶技巧ピアニスト）うわあ、すごいテクニック……。

突発的に出た声が続く音を表す。プラスマイナスのイメージはない。感動詞として用いる。音引きすることも平仮名書きすることもある。音高は H の場合（①）、M の場合（②）、ほとんど声にならに場合（③）など、さまざまである。主体が非常に驚いたり感動したりして思わず大きく口を開けて出した声が続いていることを表し、声が出る

[†]erikato@otemae.ac.jp

までにやや時間がかかる。主体の無意識が暗示され、驚きのほかに困惑(①)、感動(②)、驚嘆(③)などさまざまなニュアンスをもつ。¹ (p.54)

上述のように、『現代感動詞用法辞典』は「うわー(っ)」は驚きの他に困惑、感動、驚嘆などさまざまなニュアンスをもつと指摘している。では、日常会話において「うわー(っ)」は誰が誰に対して、どのように意味で用いているのであろうか。以下では、『日本語日常会話コーパス』モニター公開版を調査対象とし、「うわー(っ)」の意味および機能について明らかにする。

3. 『日本語日常会話コーパス』モニター公開版について

本稿で資料として用いる『日本語日常会話コーパス』モニター公開版の特徴について概観する。『日本語日常会話コーパス』モニター公開版には、2018年3月の段階で収録・一次転記が終了した協力者の中から、性別・年齢のバランスを考慮して選ばれた協力者20名について、個人密着法で収録した一人平均2.5時間、計50.3時間、セッション116、会話数126、延べ話者数390名、異なり話者数237名、計609,327語(短単位)の会話が含まれている(小磯ほか2019a:367)。話者の年齢・性別ごとの話者数・発話時間・語数は表1の通りである。

表1 年齢・性別ごとの話者数・発話時間・語数

年齢	男性				女性				計			
	延べ話者数	異なり話者数	発話時間	語数(千語)	延べ話者数	異なり話者数	発話時間	語数(千語)	延べ話者数	異なり話者数	発話時間	語数(千語)
10歳未満	9	4	0.5	4.8	3	2	0.2	1.8	12	6	0.6	6.5
10代	19	8	1.3	19.3	4	4	0.3	3.5	23	12	1.6	22.8
20代	31	20	4.0	60.3	28	14	3.1	41.2	59	34	7.0	101.5
30代	23	15	2.8	37.2	37	19	5.1	64.4	60	34	7.8	101.6
40代	30	16	3.3	44.4	51	31	7.6	97.0	81	47	10.8	141.4
50代	25	14	2.3	32.1	44	30	5.9	81.7	69	44	8.2	113.8
60代	19	11	1.6	23.5	24	17	3.2	38.5	43	28	4.8	62.0
70代	23	17	2.5	36.1	9	7	0.9	10.8	32	24	3.4	46.9
80歳以上	4	3	0.2	1.9	6	4	0.6	6.8	10	7	0.7	8.7
不明	0	0	0	0	1	1	0.2	2.0	1	1	0.2	2.0
計	183	108	18.4	259.4	207	128	26.9	347.7	390	237	45.3	607.1

(小磯ほか2019b:368の表1)

『日本語日常会話コーパス』モニター公開版の話者の年齢・性別に関する特徴をみると、性別については男女の偏りが少ないが少ない(述べ話者数でみると、女性54%、男性46%)が、年齢について、成人男性はバランスよく収録できているが、女性に関しては40代・50代の話者が多く60代・70代が少ない。また、未成年者、特に女性については話者数がかなり少ない(小磯ほか2019a:369)。

¹ 「H」は「話し手の音域での高い音」、「M」は「話し手の音域での中ぐらいの音」、「L」は「話し手の音域での低い音」を表す(『現代感動詞用法辞典』, p.xiv)

以下では、「うわー (っ)」の使用について男女別に分析を行う。

4. 男性の「うわー (っ)」の使用についての分析

4.1 男性の「うわー (っ)」の使用

男性の「うわー (っ)」の使用について、次の表 2 のような結果が得られた。

表 2 男性の「うわー (っ)」の使用

	話者 ID	表現	年齢	回数	意味
1	K004_001	うわー	10-14 歳	1	困惑
2	T011_003	うわ	10-14 歳	1	批判
3	T011_002	うわー	10-14 歳	1	困惑
4	T015_021	うわー(2)、うわ (25)	10-14 歳	27	「うわー」困惑 「うわー」と「うわ」(25) 感嘆
5	T016_002	うわ	10-14 歳	1	感嘆
6	T006_003	うわー(2)、うわ	20-24 歳	3	「うわー」困惑、感嘆 「うわ」感嘆
7	T009_016	うわー	20-24 歳	1	困惑
8	T010	うわ	20-24 歳	1	困惑
9	T006_004	うわ	25-29 歳	1	驚き
10	T001	うわー(2)	35-39 歳	2	困惑、感嘆
11	T001_008	うわー	35-39 歳	1	落胆
12	T005_001	うわーっ	35-39 歳	1	落胆
13	T005	うーわー	35-39 歳	1	落胆
14	T005_034	うわー	35-39 歳	1	感嘆
15	K001_012	うわー、うーわ、 うわ(6)	40-44 歳	8	「うわー」驚き、 「うーわ」感嘆、 「うわ」感嘆(5)、落胆
16	T003_003	うーわ	40-44 歳	1	感嘆
17	T001_009	うわー	45-49 歳	1	感嘆
18	T004_012	うわー	65-69 歳	1	驚き
19	T015_028	うわー	65-69 歳	1	感嘆
20	T004_011	うわー(2)	70-74 歳	2	驚き、感嘆

男性は、20 名が 57 回使用している。年代別では、50 代を除く、10 代から 70 代までの幅広い年代で用いられていることが分かる。その中でも 10 代が 5 名 (31 回) と使用人数・使用回数ともに最も多く、続いて 30 代が 5 名 (6 回)、20 代が 4 名 (6 回)、40 代が 3 回 (10 回)、60 代が 2 名 (2 回)、70 代が 1 名 (2 回) である。このように、若い年代に多く使われている。

4.2 男性が使用する「うわー (っ)」の表す意味

次に「うわー (っ)」が表す意味について見ると、「感嘆」(41 回) が最も多く、次いで「困惑」(7 回)、「落胆」(4 回)、「驚き」(4 回)、「批判」(1 回) であった。いずれも、家族や友人といった話し手にとって親しい間柄の人との会話の中で用いられている。以下でそれぞれの例について見ていく。

4.2.1 「感嘆」

まず、「うわー (っ)」が「感嘆」を表す例をご覧ください。

- (1) 学生 A : うわー。ここ梅酒いっぱいある。
学生 B : ん?。
学生 A : すごい これ 梅。

(会話 ID T006_004)

(1)は、飲食店で大学の先生と学生が授業の打上げをしているという場面である。学生 A はメニューを見て梅酒の種類がたくさんあることを知り、「うわー」と発している。その後「すごい」と述べているように、梅酒の種類がたくさんあることを知ったことにより気持ちが高揚し、感嘆するさまを「うわー」は表している。(1)のように、話し手にとって好ましい事柄を知ったことにより、感嘆する気持ちを表す「うわー (っ)」は、幅広い年代で用いられている。

4.2.2 「困惑」

次に、「うわー (っ)」が「困惑」を表す例をご覧ください。

- (2) 長男 : そっか。なおきゅんんち もう中一か。航ちゃんも中一か。あ。長田君も中一か。うわー。
母 : あと三輪亮太も入ってくれっかもしんねえから
長男 : まじか。

(会話 ID T011_012)

(2)は、昔から知っている年下の知り合いたちが、現在中学一年生であることを知らされて、「うわー」と発している。ここでは「うわー」と言った後に「まじか」と述べているように、「うわー」は意外な事実を知り、困惑している気持ちを表している。(2)のように、話し手にとって意外な事柄を知り、困惑する気持ちを表す「うわー (っ)」は 10 代と 20 代でよく用いられている。

4.2.3 「落胆」

続いて、「うわー (っ)」が「落胆」を表す例をご覧ください。

- (3) 友人 A : まあまあ日本画なんだけれども。
友人 B : あー。それ面白そう。えっ。
友人 A : うん。
友人 B : もうないんすか?。
友人 A : で それもう短くて一月で終わったんです。
友人 B : あれ。
友人 A : 先週終わる 先々週終わったのかな。
友人 B : うわー。 言ってほしかつたな。

(会話 ID T001_014)

(3)は飲食店で英会話教室の友人たちが飲み会をしている場面である。40代の友人 A から絵画展が終了したと知らされて、30代の友人 B が「うわー。言っ

てほしかつたな。」と述べている。ここでの「うわー」は、絵画展に行けなかったことへの落胆の気持ちを表している。(3)のように、話し手にとって好ましくない・期待外れの事柄を知り、落胆を表す「うわー (っ)」は、30 代後半から 40 代前半の男性が用いている。

4.2.4 「驚き」

さらに、「うわー (っ)」が「驚き」を表す例をご覧ください。

(4) 女性 A：だからこれマンションなんですけど。これのだから一階と二階のところともうぐしゅっ。

女性 B：ああ。下がっちゃってるの。

女性 A：そうそう。だからもうこのマンション中これが全部駄目。

男性：うわー。

(会話 ID T004_005a)

(4)は町会役員の自宅にて役員たちが会計監査後の慰労会をしている場面である。女性 A のマンションの写真を見て、60 代の男性が「うわー」と言っている。これは、マンションの衝撃的な状況を見て感じた驚きを表している。(4)のように、何らかの衝撃を受け、驚きの気持ちを表す「うわー (っ)」は、相手に話に対する返答として用いられることが多い。

4.2.5 「批判」

最後に、「うわー (っ)」が「批判」を表す例をご覧ください。

(5) 父：閉じ込められて あー あー 大変だ 出れないよ:ってなったの?。

長男：違う ちゃう。

次男：うわ。まじキッ君びびりだ。

(会話 ID T011_012)

(5)は車の中で交わされた家族の会話である。エレベータに乗りたくないという中学生の長男の発言を聞いて、小学生の次男が「うわ」と発し、長男に対して「まじびびりだ」と述べている。ここでの「うわ」は、長男の発言を批判する気持ちを表している。(5)のような相手の発言に対する批判を表す「うわー (っ)」は、用いる相手が限られる。そのため、使用例が少ないのであると考えられる。

5. 女性の「うわー (っ)」の使用についての分析

5.1 女性の「うわー (っ)」の使用

女性の「うわー (っ)」の使用について、次の表 3 のような結果が得られた。

表 3 女性の「うわー (っ)」の使用

	話者 I D	表現	年齢	回数	意味
1	K002_003	うわ	15-19 歳	1	驚き
2	T015_042	うわー	15-19 歳	1	驚き
3	K003_001	うわ	20-24 歳	1	驚き
4	K003_005	うわ	20-24 歳	1	困惑
5	K003	うわっ、うわ(3)、 うわー(3)	20-24 歳	7	「うわっ」批判 「うわ」批判(3) 「うわー」困惑、感嘆(2)
6	T006_002	うわー	20-24 歳	1	困惑
7	T009_015	うわっ	20-24 歳	1	驚き
8	T009	うわ、うわっ	20-24 歳	2	驚き(2)
9	T013_004	うわー	20-24 歳	1	批判

10	T013_003	うわー	20-24 歳	1	批判
11	T015_003	うわー	25-29 歳	1	感嘆
12	T001_001	うわ	30-34 歳	1	驚き
13	K001	うわー(2)	35-39 歳	2	批判(2)
14	K001_004	うわ	35-39 歳	1	感嘆
15	K002_007	うわ	35-39 歳	1	困惑
16	C001	うわ(4)、うわー うーわー	40-44 歳	6	「うわ」批判、驚き(3)、 「うわー」批判、 「うーわー」驚き
17	C001_004	うわー(2)	40-44 歳	2	感嘆(2)
18	K004	うわ、うわー	40-44 歳	2	「うわ」驚き、 「うわー」感嘆
19	T003_017	うわー	40-44 歳	1	驚き
20	T005_033	うわ、うわー(2)	40-44 歳	3	驚き(3)
21	T005_008	うわー	40-44 歳	1	驚き
22	C001_001	うわー	45-49 歳	1	感嘆
23	S001_005	うわ	45-49 歳	1	感嘆
24	C002_007	うわー(2)	50-54 歳	2	驚き(2)
25	K004_016	うわー	50-54 歳	1	批判
26	T005_004	うわー	50-54 歳	1	感嘆
27	T009_002	うわー	50-54 歳	1	感動
28	K001_003	うわ	55-59 歳	1	感嘆
29	T005_032	うわー	65-69 歳	1	感嘆
30	T007_013	うわー	65-69 歳	1	感嘆
31	T016_004	うわっ	65-69 歳	1	感嘆
32	T007_012	うわー(2)	70-74 歳	2	困惑、感嘆
33	S001_007	うわー	75-79 歳	1	驚き
34	T009_001	うわー	80-84 歳	1	感嘆
35	T002_017	うわ	不明	1	感嘆

女性は 35 名が 54 回使用している。男性の場合と比べると、女性のほうが使用者数・使用回数ともに多いことが分かる。また年代別に見ても、10 代から 80 代の幅広い年代で用いられていることが分かる。その中でも、20 代が最も多く 9 名（16 回）であり、続いて 40 代が 8 名（17 回）、50 代が 5 名（6 回）、30 代が 4 名（5 回）、60 代が 3 名（3 回）、70 代が 2 名（3 回）、10 代が 2 名（2 回）、80 代が 1 名（1 回）、不明が 1 名（1 回）である。男性では「うわー(っ)」は若い年代によく使われていたが、女性の場合は若い年代だけではなく、中高年層もよく用いている。

5.2 女性が使用する「うわー(っ)」の表す意味

次に「うわー(っ)」が表す意味について見ると、「驚き」(20 回)が最も多く、次いで「感嘆」(17 回)、「批判」(11 回)、「困惑」(5 回)、「感動」(1 回)であった。男性で用いられていた「落胆」は、女性では見られなかった。その代わりに、男性で見られなかった「感動」が 1 例見られた。また、男性の場合と同様、いずれも家族や友人といった話し手にとって親しい間柄の人との会話の中で用いられている。以下でそれぞれの例について見ていく。

5.2.1 「驚き」

まず、最もよく使用されている「驚き」の例をご覧いただきたい。

- (6) A: ちゃんとタイマーが動いたかどうかを確認して あたし やるから。
B: うん。うん うん。
A: あのね あたしそろそろね データの通信量/料がやばいから
B: うわ。
A: 早くユーチューブをねやりたいんす。

(会話 ID K003_002d)

(6)の A と B は 20 代の女子大学生である。A の「データの通信量／料がやばいから」という発言を受けて、B は「うわ」と言っている。この「うわ」は、それは大変といった意味を表している。このように、女性は、相手の発言に対する応答として、驚きを表す「うわー(っ)」を多用している。

また次の(7)のように、相手の状況を知って受けた衝撃が強い場合には、「うわー(っ)」は驚きだけではなく、同情のニュアンスも含む。

- (7) A: 痛。いててててててて。
B: 足ね。
A: そう。ちょっとこれ痛。
B: うーわー。痛いな。

(会話 ID C001_002)

(7)の A と B は 40 代の友人同士である。A の足の傷を見て、B は「うーわー」と発しているのであるが、「うーわー」は A の傷の具合に対する驚きを表すとともに、かわいそうという気持ちも表している。

5.2.2 「感嘆」

次に、「うわー(っ)」が「感嘆」を表す例をご覧いただきたい。

- (8) 姑: うわっ。 綺麗なお肉ですね。
嫁: 綺麗だよ。これ。いいお肉だよ。

(会話 ID T016_004a)

(8)は家族で夕食を食べている場面である。60 代の姑が嫁の用意した肉を見て「うわっ」と言い、その発言に続けて「綺麗なお肉ですね」と述べている。これは、肉を見てその美しさに感嘆する気持ちを表している。話し手にとって好ましい事柄を知ったことにより、感嘆する気持ちを表す「うわー(っ)」は、男性の場合と同様、女性においても、幅広い年代で用いられている。

また、「感嘆」を表す「うわー(っ)」は次の(9)のように、相手が作ったものをほめる時に使われることが多い。

- (9) 嫁: うわー。 すごいスペアリブ。 (会話 ID T005_007)

(9)は、夫の実家に家族が集まって食事をしている場面である。姑の手作りの料理を見て、40 代の嫁が「うわー」と言っている。このように、「うわー(っ)」は相手が作った料理や作品などをほめる時に使われることが多く、その場合には「うわー(っ)。すごい」という表現で用いられることが多い。

5.2.3 「批判」

続いて、「うわー (っ)」が「批判」を表す例をご覧いただきたい。

(10) A: まず B ちゃんの計画教えてください。てーれー。

B: 眠くなってきた。えーっと。

A: うわ。待って。

B: (L)

A: (L) 逃げ方がせこい。

(会話 ID K003_006)

(10)の A と B は 20 代の女子大学生である。B が A の質問に答えず、「眠くなってきた」と言ったことに、A は「うわ」と言っている。これは、B が A の質問から逃げようとしたことを冗談交じりに批判していると考えられる。男性の場合には「批判」は 1 例しか見られなかった。しかし、女性の場合は 20 代を中心に、仲の良い友人同士が冗談めかして相手の発言を批判する時に多用されている。

5.2.4 「困惑」

さらに、「うわー (っ)」が「困惑」を表す例をご覧いただきたい。

(11) 女性 A : あー。

女性講師 : うん。

女性 A : ちょっとこうちょっと薄いような。

女性講師 : うん。であのそういった時にあの丸くね 月の形をこれで抜いて。

女性 A : うわー。 どうしよう 難しい。

(会話 ID T007_007)

(11)は 70 代の女性 A が仲間と教室で作品を作っている場面である。女性 A は女性講師が指示するように作品を作ることができず、「うわー」と言っている。ここでは、「うわー」の後に「どうしよう 難しい」と述べているように、思い通りにいかないことに困惑する気持ちを「うわー (っ)」で表している。

前節で見た男性の場合は、困惑する気持ちを表す「うわー (っ)」は 10 代と 20 代がよく用いていた。それに対して女性の場合は、使用数は多くないものの、20 代から 70 代までの幅広い年代で使われている。

5.2.5 「感動」

最後に、「うわー (っ)」が「感動」を表す例をご覧いただきたい。

(12) 母 : で それがね 綿らしいんだけど。新しく開発した綿であの)羽毛みたいだって。

娘 : 洗えるやつね。 うわー。

(会話 ID T009_010)

(12)は 80 代の母から誕生日プレゼントの枕をもらい、50 代の娘が「うわー」と言っている。ここでは、思いがけないプレゼントに喜び、感動する気持ちを「うわー」と表している。この「感動」は、先程見た「感嘆」とは異なる。「感嘆」は話し手にとって好ましい事柄を知ったことにより生じる気持ちである。それに対し、「感動」は他者が話し手に対して予想外の行為をしてくれたことにより、生じる感情であるという違いがある。

6. まとめと今後の課題

本研究は、『日本語日常会話コーパス』モニター公開版を用い、感動詞「うわー(っ)」が日常会話においてどのように用いられているのかを調査および分析した。

分析の結果、「うわー(っ)」の使用について、男女によって若干の違いがあることが分かった。まず、男性は20名が57回使用しており、年代別では、50代を除く、10代から70代までの幅広い年代が用いていた。その中でも10代が5名(31回)と使用人数・使用回数ともに最も多く、続いて30代が5名(6回)、20代が4名(6回)、40代が3回(10回)、60代が2名(2回)、70代が1名(2回)であった。このように、男性の場合は若い年代が「うわー(っ)」を多く用いていることが分かった。次に「うわー(っ)」が表す意味について見ると、男性が使用する「うわー(っ)」の意味は「感嘆」(41回)が最も多く、次いで「困惑」(7回)、「落胆」(4回)、「驚き」(4回)、「批判」(1回)であった。いずれも、家族や友人といった話し手にとって親しい間柄の人との会話の中で用いられていた。その中で特徴的であるのは、話し手にとって好ましくない・期待外れの事柄を知り、落胆を表す「うわー(っ)」の使用である。この使用は女性には見られず、30代後半から40代前半の男性が用いていた。

一方の女性は、35名が54回使用していた。男性の場合と比べると、女性のほうが使用人数・使用回数ともに多いことが分かる。また年代別に見ても、10代から80代の幅広い年代で用いられていた。その中でも、20代が最も多く9名(16回)、続いて40代8名(17回)、50代が5名(6回)、30代が4名(5回)、60代が3名(3回)、70代が2名(3回)、10代が2名(2回)、80代が1名(1回)、不明が1名(1回)であった。男性の場合は「うわー(っ)」は若い年代がよく使っていたが、女性の場合は若い年代だけではなく、中高年層もよく用いていた。次に「うわー(っ)」が表す意味について見ると、「驚き」(20回)が最も多く、次いで「感嘆」(17回)、「批判」(11回)、「困惑」(5回)、「感動」(1回)であった。男性で見られた「落胆」の使用は、女性では見られなかった。その代わりに、男性で見られなかった「感動」の使用が1例見られた。また、女性においても、男性の場合と同様、家族や友人といった話し手にとって親しい間柄の人との会話の中で用いられていた。女性では、相手の発言に対する応答として、驚きを表す「うわー(っ)」が多用されていた。さらに、男性の場合には「批判」の使用は1例しか見られなかったが、女性の場合は20代を中心に、仲の良い友人同士が冗談めかして批判する時に「うわー(っ)」が多用されていることが分かった。

今後も「うわー(っ)」についての実例を多く集め、それらが誰に対してどのような意味で用いられるのかについて分析を続けていきたい。また、今回は「うわー(っ)」の音調の違いによって意味の違いがあるのかについては調べることができなかった。その点については今後の課題としたい。さらに、「うわー(っ)」の類義語である「わー(っ)」との意味および用法の違いについて明らかにすることも今後の課題である。『現代感動詞用法辞典』は、『『うわあ』は『わあ』に似ているが、「わあ」は音調の出始めが突発的で、驚きや感動が突然起こる暗示がある」(p.54)と記述している。そのような違いがあるのかについても今後分析を行いたいと考えている。

文 献

浅田秀子 (2017) 『現代感動詞用法辞典』 東京堂出版.

小磯花絵、天谷晴香、石本祐一、居關友里子、臼田泰如、柏野和佳子、川端良子、田中弥生、伝康晴、西川賢哉 (2019a) 『『日本語日常会話コーパス』モニター公開版の設計と特徴』 『言語処理学会第25回年次大会発表論文集』 pp.367-370 言語処理学会

小磯花絵、天谷晴香、石本祐一、居關友里子、臼田泰如、柏野和佳子、川端良子、田中弥生、伝康晴、西川賢哉 (2019b) 『『日本語日常会話コーパス』モニター公開版コーパスの設計と特徴』 『国立国語研究所「日常会話コーパス」プロジェクト報告書3』 国立国語研究所

関連 URL

コーパス検索アプリケーション『中納言』

<https://chunagon.ninjal.ac.jp/>